

ホワイトニングの基礎知識

薬剤を使って段階的に希望の白さへ。メンテナンスも大切

シリーズ・歯の健康相談

笑ったときどこほれる白い歯は印象もアップしますね。でも、歯の色に自信がないと口元を気にして思いきり笑えなかったり、至近距離で話ができなかったり…と悩んでいる人も多いのでは。最近歯のホワイトニングをする人も増えていきます。そこで今回は、歯のホワイトニングも手がけている「ほりい矯正歯科クリニック」院長の堀井和宏さんと歯科衛生士の砂子(すなご)さんにご詳しく聞きました。

そもそもなぜ歯は変色するのですか。 トニングには、歯科医院で専用の薬剤を歯の表面に塗り光を当てて行うオ

ー歯は、食品由来の色素や嗜好(しこう)品による着色、またエイジング(加齢)などにより、黄色っぽく変色したりして自然と色調が暗くなります。 トニングには、歯科医院で専用の薬剤を歯の表面に塗り光を当てて行うオ

歯の色の悩みについて相談を受ける歯科衛生士の砂子さん。自分でもホワイトニングをされているとのこと



どの程度白くなりますか。

ー個人差はありますが、1回行うと2〜3段階、色調が白くなります。

それを繰り返しながら希望の白さへと近づけていきます。

副作用はありますか。

ー冷たいものが歯にしみたり、ピリピリした痛みがある知覚過敏の症状が起きますが、ホワイトニングを受けている期間のみで、後遺症となることはありません。

ホワイトニングで白くなった歯は永久にそのままですか。 ー永久に白さが続くわけではなく、後戻りがあります。それを少しでも防ぐために、また白さを持続させるためにも、メンテナンスは必要です。追加のホワイトニング(タッチアップ)をはじめ、定期的な歯のクリーニングやトリートメントケア、白さが持続する歯磨き粉を使用することなども有効です。

当クリニックでは、矯正治療後、さらさら白い歯を望まれる人や、子どもさんの付き添いで来られたお母さん世代が、ホワイトニングを受けられることが多いですね。

歯の色や質はそれぞれ異なります。目標に合わせて歯科医師や歯科衛生士と十分に相談されることをおすすめします。



ほりい矯正歯科クリニック・堀井和宏さん

具体的にどうやって歯を白くするのですか。 ー歯を白くするホワイト



38歳女性。矯正治療後、上下前歯のホワイトニングを行った例(下がホワイトニング後)。オフィスホワイトニング5回とホームホワイトニングを併用し、約10段階、白い歯に。現在も毎日の丁寧なセルフケアとタッチアップ、定期的なクリーニング・トリートメントケアにより、白さを保持